

EU Indicators

発表日: 2018年9月12日(水)

欧州経済指標コメント: 9月英国労働統計

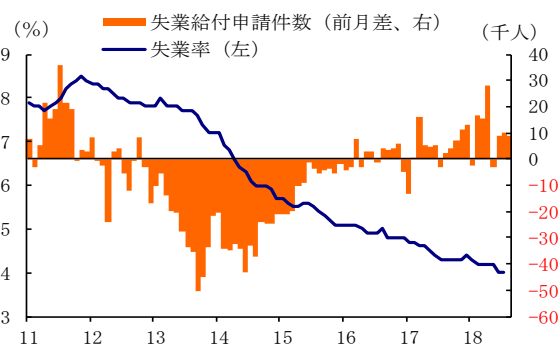
～8月の追加利上げ決定を正当化～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

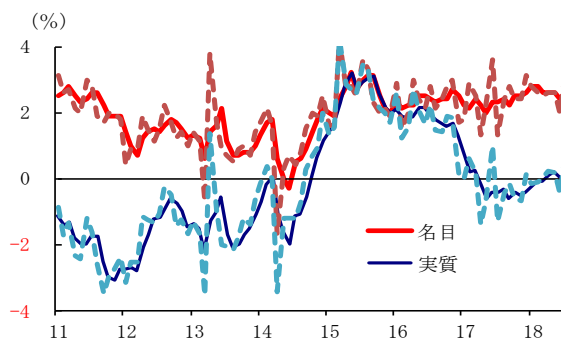
- 11日に発表された労働力調査ベースの英国の失業率は、7月から遡って3ヶ月の移動平均値で4.0%。前月と並んで43年振りの低水準にある。単月の失業率は、新たに計算に加わった7月値が4.14%と同一サンプルの4月(4.15%)から僅かに低下。8月の失業率が3.71~4.00%の範囲内だと(同一サンプルの5月は3.96%)、来月の3ヶ月移動平均値は今月同様に4.0%となる。
- 全産業の週当たり賃金(賞与を含む)は、7月から遡って3ヶ月の移動平均で前年比+2.6%と、前月の同+2.4%から再加速。単月の振れが大きい賞与が引き続き下押ししたが、賞与を除く賃金が前月の3ヶ月移動平均: 同+2.7%→今月: 同+2.9%に加速。7月単月の賞与を除く賃金の前年比は+3.1%と、2015年7月以来の高い伸びを記録。実質賃金もプラス圏が定着してきた。
- 4-6月平均で16万人増あった3ヶ月前対比の就業者数は、前月: 4万3千人増→今月: 3千人増に一段と縮小。ただ、求人数の高めの伸びが続いており、就業者数も再拡大の可能性はある。
- BOEは8月のMPCで追加利上げを決定したが、今回の計数はそうした決定を正当化する内容。カーニー総裁が2020年1月まで退任時期を延期したことから、離脱協議が向こう半年間の手足を縛る可能性がある。ただ、労働需給逼迫による賃金上昇圧力の高まりが、今後の金融政策判断にどのように影響するのか、13日に結果が判明する9月MPCでの討議内容に注目が集まる。

■英国: 失業率と失業給付申請件数



出所: 英国統計局

■英国: 週当たり賃金・賞与(全産業、前年比)



注: 実線は3ヶ月移動平均値

出所: 英国統計局

■英国の失業給付・平均賃金

	2017			2018							
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
失業率(失業給付、%)	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.6
失業給付件数(前月差、千人)	7.1	11.1	12.9	-2.3	16.6	15.7	28.2	-3.0	9.0	10.2	8.7
失業率(労働力調査、%)	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.0	4.0	-
(単月の失業率、%)	4.42	4.28	4.42	4.24	4.01	4.41	4.15	3.96	3.99	4.14	-
就業者数(前月差、千人)	-56	102	88	168	55	197	146	137	42	3	-
週当たり賃金(産業計、前年比、%)	2.5	2.5	2.6	2.8	2.8	2.6	2.6	2.6	2.4	2.6	-
賃金	2.3	2.3	2.5	2.6	2.8	2.9	2.8	2.8	2.7	2.9	-
ボーナス	8.5	8.1	5.2	6.1	4.6	1.4	0.3	0.3	-2.5	-2.1	-

注: 労働力調査基準の失業率、就業者数、週当たり賃金は当月で終わる3ヶ月移動平均 出所: 英国統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。